

短期肥育の発酵飼料給与が 肥育中期までの飼料摂取量を増加させる

福島県農業総合センター 畜産研究所 沼尻分場

1 部門名

畜産-肉用牛-畜産栄養

2 担当者名

齋藤美緒、妹尾毅、遠藤幸洋、佐藤亮一、石川雄治

3 要旨

短期肥育は、単純に生産コストを低減できるが、一度に多量の飼料を摂取させると消化器官への負担が大きく、喰い止まりや第一胃食滞を併発しやすい。今回、第一胃負担軽減を目的に醸造副産物を主原料とした市販の発酵飼料給与により短期肥育が可能かを検証した。発酵飼料の給与は、肥育中期までの飼育期間中に飼料摂取量を増加させ、牛群内の個体ごとの増体量の均衡化につなげた。

- (1) 発酵飼料の給与により、約 19 箇月齢まで飼料摂取量を増加させた (図 1)。
- (2) 枝肉成績及び飼料費について有意な差は認められなかった (表 1)。
- (3) 食味試験では、やわらかさで低い評価があるものの、香り、ジューシーさ、うま味、好ましさで高い評価があった (表 1)。

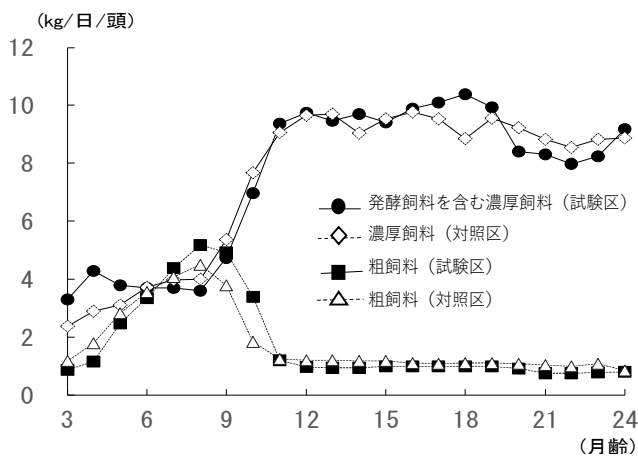


図 1 1 頭当たりの飼料摂取量の推移

表 1 枝肉成績、食味試験及び飼料費

	試験区 (5頭)	対照区 (5頭)
枝肉等級	A5 (5頭)	A5 (4頭)・A4 (1頭)
枝肉重量 (kg)	492±38	512±56
BMS No.	10.2±1.1	9.4±1.5
オレイン酸 (%)	56.6±1.4	55.5±2.5
食味試験 (高評価の項目)	香り、ジューシーさ、うま味、好ましさ	やわらかさ
飼料費 (円)	503,898	510,912

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 3~5 年度
- (2) 研究課題名 新品種・新技術等開発促進事業 (福島県と J A グループ福島による共同事業)

5 主な参考文献・資料

- (1) 「肥育前期に濃厚飼料を多給した短期肥育は通常出荷 (全国平均) と同等である」 (福島県農業総合センター畜産研究所沼尻分場 令和 3 年度参考成果)